

2) 副交感神経

脳脊髄神経の中に含まれている動眼神経、顔面神経、迷走神経、舌咽神経、仙骨神経の中に交っている。

節前線維 ← 神経節

節後線維 → 臓器

神経伝達物質

脊髄と脊髄神経(補足)

- 第1～第4頸神経($C_1 \sim C_4$)の前枝は頸神経叢をつくり、このうち、頸部の皮膚と筋に分布、横隔神経も出す。
- 第5頸神経～第1胸神経($C_5 \sim T_1$)の前枝は腕神経叢を形成、肩と上肢に分布(正中神経と尺骨神経は前腕と手の屈筋全体を支配) 12対の胸神経($T_1 \sim T_{12}$)の前枝は肋間神経ともよばれ、同名の血管とともに肋骨下線に沿って走る。→ 胸壁、腹壁に分布。上縁 ← 穿刺針
- 第1～第4腰神経($L_1 \sim L_4$)の前枝は腰神経叢をつくり、その枝は下腹部、鼠径部、大腿の皮膚と節に分布。
- 第5腰神経～第3仙骨神経($L_5 \sim S_3$)の前枝は仙骨神経叢を形成し、そこから出る坐骨神経は人体最大の神経。
 ↳ 総腓骨神経
 ↳ 経骨神経

(11) 脊髄

灰白質



白質 → 伝導路を形成する神経線維が集合

知覚性の上行路

運動性の下行路

皮膚温度感覚圧覚痛覚

1. 上行路

- ① 脊髄視床路... 側索と前索を通り、脊髄内で交叉して視床へ
- ② 後索路... 後索 → 延髄 → 反対側の視床(深部感覚)、感覚の一部
- ③ 脊髄小脳路... 側索を通り、小脳へ。(運動や姿勢維持)

2. 下行路

- ・ 錐体路(延髄の錐体を通る)... 大脳皮質の運動野、側索前索 → 脊髄の前角細胞。随意運動を司る。
- ・ 錐体外路 → 無意識的は運動の調節。